

ちゃんと かわら版



陸上自衛隊北千歳駐屯地(北信濃724)で1月16日、人生の節目を迎えた隊員を祝う「二十歳の集い」を同駐屯地体育館にて挙行され、来賓や関係者、家族が見守る中、成人隊員26人が参列しました。

式典では、井上互

成人隊員が団結して「戦車」と綱引き 北千歳駐屯地二十歳の集い

(わたる)北千歳駐屯地司令が「20歳を迎えた諸官に3つのアドバイスをしませう。1つ目は自分と関わりあるすべての人に感謝すること。2つ目は目標を持つこと。3つ目は地域社会の一員として、周囲の人、そして自分自身を大切にすることです。一自衛官として地域社会に寄与できるように頑張ってください」と激励し、若手隊員のさらなる成長に期待を寄せました。また、来賓を代表して横田隆一、千歳地方防衛協会

会長・千歳市長も来賓祝辞を述べました。続いて、二十歳隊員を代表して、第101特科直接支援大隊第1中隊の作道隆太3等陸曹が「社会人、自衛官としての自分の役割を全うし、日々多くの方に支えてくださることを当たり前だと思わず、感謝しながら行動していく」、同じく第71戦車連隊第1戦車中隊の中村樹里陸士長が「今後、もたくさんの経験を積み重ねていき、その経験を糧に自衛官として市民の安全を守っていきます」と熱のこもった誓いを立てました。

その後、屋外に移動し、約40tの10式戦車と成人隊員たちによる綱引きを実施。わずかにしか動かない戦車を見て、見守っていた先輩や上官、さらには横田会長も助っ人に加勢。掛け声に合わせて綱を引くと、戦車が数m動き、大きな歓声が沸き起こりました。

(編集 佐々木)

1月24日、千歳市の障がい者支援センター「キラリ・ひかる(春日町3、荒洋一理事長)」と恵庭市の北海道文教大学が共催し、千歳公民館にて同大学の食育アイドル「えにわっ娘」のライブパフォーマンス



食と音楽でつながる輪 えにわっ娘が障がい者にライブ披露

スと食育講話を開催しました。同大と同センターとの交流は、食についての学習と周辺地域の人たちとのコミュニケーションを目的に、2024年からスタート。今までに調理実習交流が行われましたが、今回のライブ交流は

初めてです。当日は同センターの利用者や家族、関係者など約80人が来場。ステージからえにわっ娘メンバーが登場すると観客は大きな拍手で迎え、ペンライトや押しメンバの名前が書かれたパネルを手に持ち、ライブを楽しむ観客の姿が。

ライブ途中には食育講座とレクリエーションが実施され、「体づくりにはタンパク質が大切か?」など健康と栄養に関するクイズが○×形式で出題。また、リズムに合わせた手拍子で、体を動かす「クラップ体操」も行われ、観客はアイドルと一緒に楽しみました。

(編集 佐々木)



太宰府天満宮(福岡県)境内の御神木の「飛梅とびうめ」が咲き始めるころ、極寒の北海道に「足早い春の便りを届けるため派遣された「梅の親善使節」が1月22日、新千歳空港に到着し、日本航空株式会社(以降JAL)カウンター付近に設置された縁起物とされる梅花の鉢と特大絵馬を前に修祓(しゅばつ)式を執り行いました。この派遣事業は、JALによる1956年千歳福岡線の就航を機に始まった恒例行事で、日本の南北の友好親睦を図ることを目的としており、今回で68回



目。福岡県から同神社の「梅」が新千歳空港へ、その返礼として5月頃に北海道から「すずらん」が同神社に奉納されます。「学問の神様」として菅原道真公がまつられている同神社からの絵馬には、志望校合格への願いが書かれた札を掛けられるようになっていきます。JALのスタッフと、合格を祈願する受験生代表の北海道千歳高校3年の森七星さん、佐藤愛理さん、酒井なつさんらを前に、太宰府天満宮の神職と巫女が空の旅の安全、志望校合格を祈願する神事を執り行いました。

神事が終わると巫女から、紅白に咲き誇った梅の鉢がJALスタッフへと手渡され、たくさんの願い札が収められた特大絵馬は、今月、太宰府天満宮へ奉納されます。

(編集 小西)

怪盗ちゃんとからの 挑戦状



作者: マグナム・ハートさん
作者略歴: パズル作家歴 25 年、東京在住。パズル誌、携帯アプリ、社内報などに問題を提供。2011 年単行本「連番禁止ナンバー」(パブリック・ブレイン)出版。

答えは

来週号に掲載!
君にこの難問が解けるかな?

ナンバー
プレイス

【ルール】
縦・横9列のすべてに、1~9までの数字が一つずつ入ります。
太線で囲まれた3×3のブロックにも、1~9までの数字が一つずつ入ります。

7				5				1
			6		4			
		4				2		
	6				8		1	
1				2				5
	2		7				4	
		5				3		
			8		6	1		
3				1				8